



「森と海の自然科・第29回山歩きを楽しむ会」

歴史ロマンあふれる熊野古道（藤白坂）歩きの案内

- | | |
|----------|---|
| 1 : 日 時 | 2025年12月16日(火) JR海南駅改札口集合 10時10分集合 |
| 2 : 目 的 | 海南駅から藤白峠を越えて冷水浦駅までの熊野古道歩き |
| 3 : 行 程 | JR海南駅・・安来橋・・一の鳥居跡・・祓戸王子・・鈴木家屋敷(見学)・・藤白神社・有間神社・・有間皇子の歌碑・・筆捨松・・藤代塔下王子(昼食・トイレ)・・御所の芝・・蓮如上人御休憩所・・JR冷水浦駅(解散) 時間があれば紀三井寺駅から紀三井寺参拝 |
| 4 : 山道状況 | 藤白峠までの道はやや急登で歩きにくいです。 また下山道は急降下で注意がいります。 |
| 5 : 持ち物 | 弁当、水筒、雨具、スタッフ、その他 |
| 6 行程距離 | 約5.0km 4時間 前日17時の天気予報で海南方面の降水確率40%以上の場合中止します。 |
| 7 : 地図 | 下記の地図参照 また、中止の場合は参加者の方にメールいたします。 |

今回の山歩き例会は熊野古道歩きで、その道中に藤白神社があります。神社内には有間皇子神社があり、近くには皇子の歌碑もあります。

有間皇子は孝徳天皇の第1皇子であり、天皇となる可能性がありました。父親が亡くなった後に天皇とになったのは齊明天皇（重祚）でした。皇位継承に危機を感じた有間皇子は狂人を装い牢婬の湯（白浜）に湯治に出かけました。湯治から帰り齊明天皇に湯治を進みました。天皇は喜んで中大兄皇子らと牢婬の湯に行幸しました。天皇らが飛鳥を離れている間、蘇我赤兄の甘言に誘われ謀反を企てたが、捕らえられ牢婬の湯まで護送されました。その途中、磐代の地（白浜近く）で詠んだ歌が万葉集に残っています。殺されることを覚悟していたのでしょうかね？

「磐代の浜松が枝を引き結び

真幸あらばまた還り見む」

願いもかなわず、帰路中658年11月9日藤白神社近くの藤白坂で処刑されました。当年19歳でした。

万葉集の中にもう一つ下のような歌も残っています。



JR 海南駅



藤白神社



有間皇子の歌碑と墓 「家にあれば 箕に盛る飯を草枕

旅にしあれば椎の葉に盛る |



鈴木家屋敷

藤白神社の近くに「鈴木家屋敷」があります。この鈴木家は源義経の家臣で全国に「熊野信仰」を広めた200万の鈴木姓のルーツです。和歌山県史跡の「曲水泉」などの見事な庭園があります。入場料がいりますが、見学してみましょう。

当日担当 大石・森・李三